



2022年 4月14日 (木)

第61期 (2022年 3月期) 決算説明会

(2021年 4月 1日~2022年 3月31日)

取締役
経営企画部

管理本部長

川久保 秀樹
山下 洋

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

業績の概要

第61期（2022年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期実績		22.3 61期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,504		36,778		273	100.8%
営業利益	5,632	15.4%	6,135	16.7%	502	108.9%
経常利益	5,988	16.4%	6,285	17.1%	297	105.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,959	13.6%	4,370	11.9%	△588	88.1%
E P S	164.03円		153.00円			

HOGY

4

■ 増収減益

売上高 : +273百万円 (0.8%増)

- : 第1四半期 コロナによる手術件数減の反動増により増収
- : 第2四半期 感染拡大の影響を強く受ける
- : 第3四半期 新規獲得によりキット製品増収
- : 第4四半期 オミクロン株の流行するも、従来の緊急事態宣言下に比べ影響は軽微
- : プレミアムキット、プリスターキットの販売は好調
- : 感染防護製品の反動減（第2四半期より継続）

営業利益 : +502百万円 (8.9%増)

- 原価 - 58.1%(前年比+0.1pt)
- 償却費の減少
- 棚卸の評価減
- 販売管理費 - △412百万円 (4.3%減)
- 償却費、試験研究費等の減少

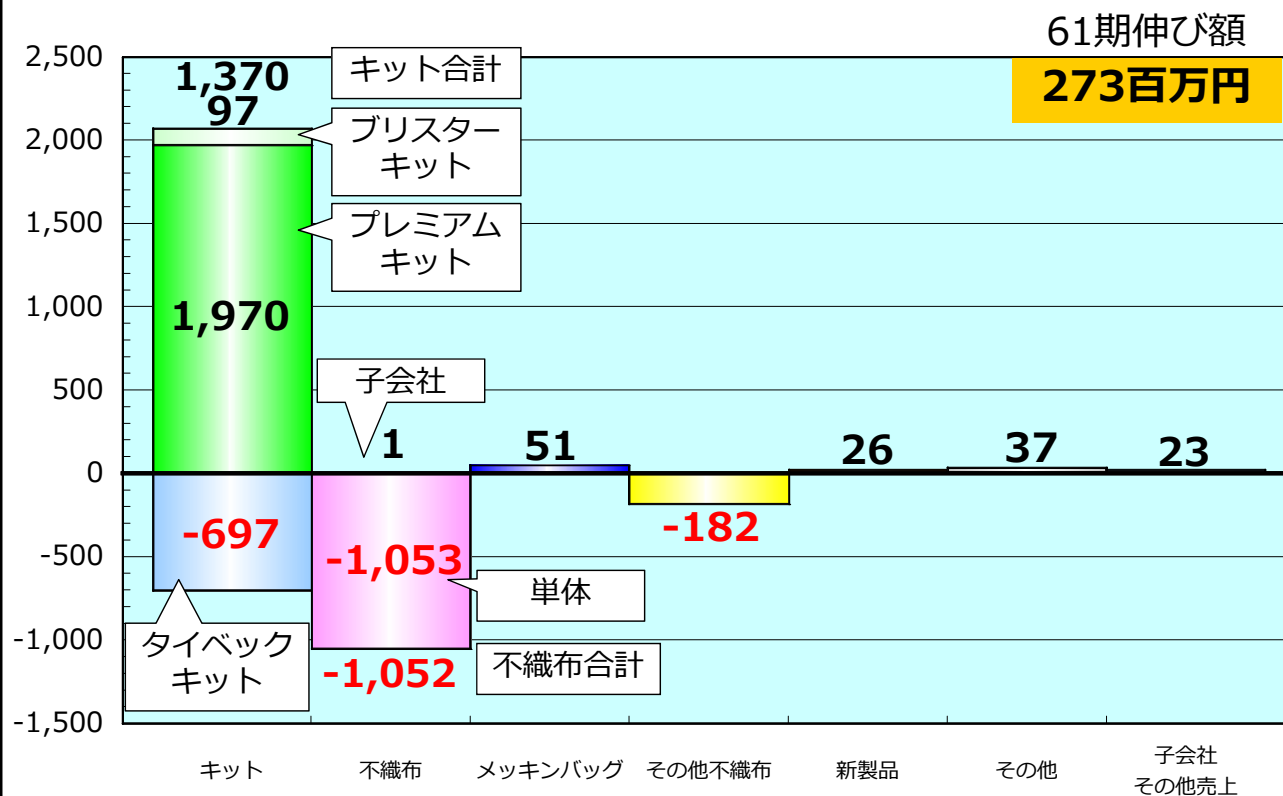
経常利益 : +297百万円 (5.0%増)

当期純利益 : △588百万円 (11.9%減)

第61期（2022年3月期） 主な製品の売上高伸び額



(単位：百万円、端数：切捨て)



HOGY

5

・ プレミアムキットへ販売を注力した結果、前年比34.5%増加 (61期累計販売額：7,683百万円)

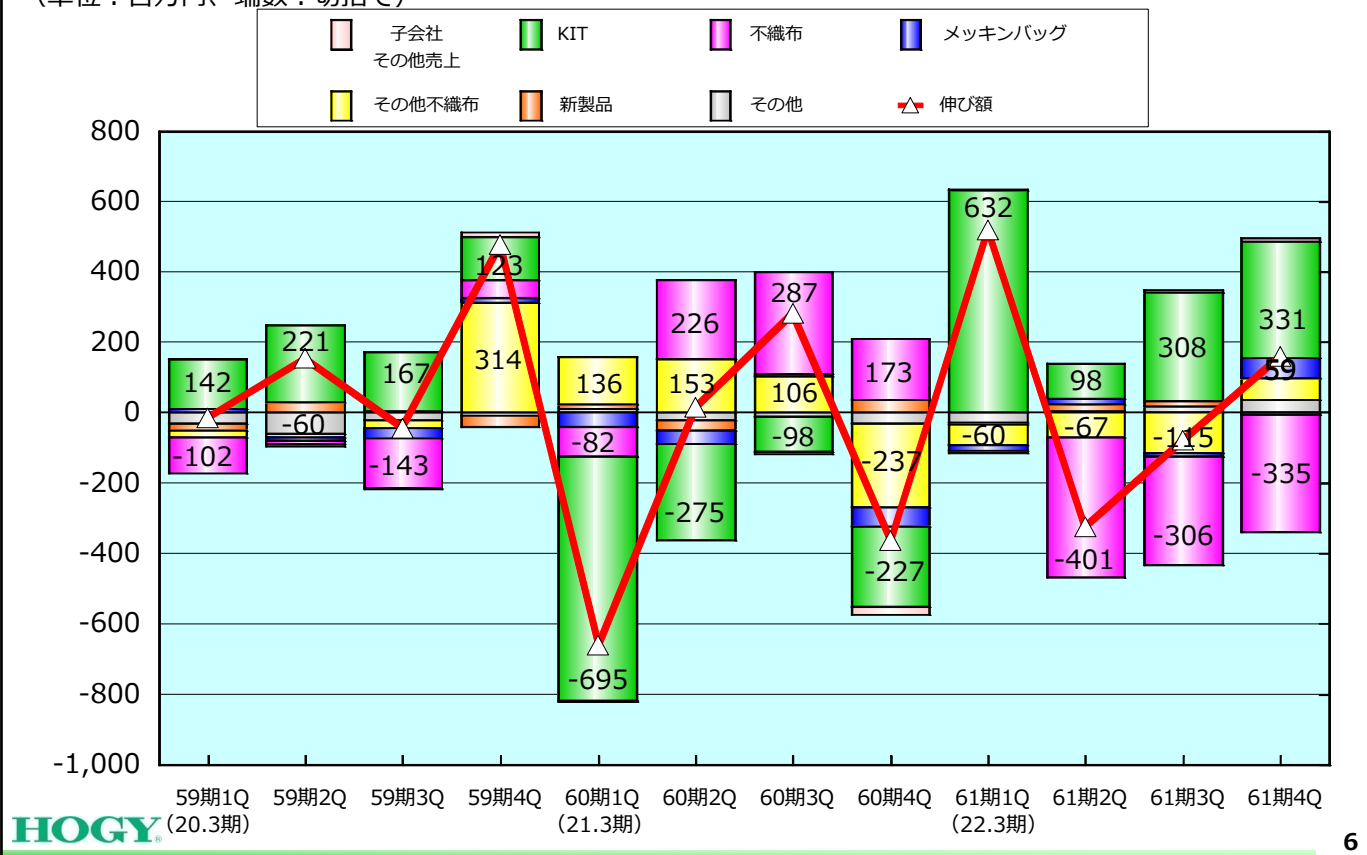
* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「ブリスターキット」の合算を記載しております

- ・ タイベックキットを中心に新型コロナの影響を受ける
- ・ 不織布（ガウンとプリコーションセットを中心とした感染防護製品）とその他不織布（マスク）は特需の反動減

第61期（2022年3月期） 四半期別売上高伸び額の内訳



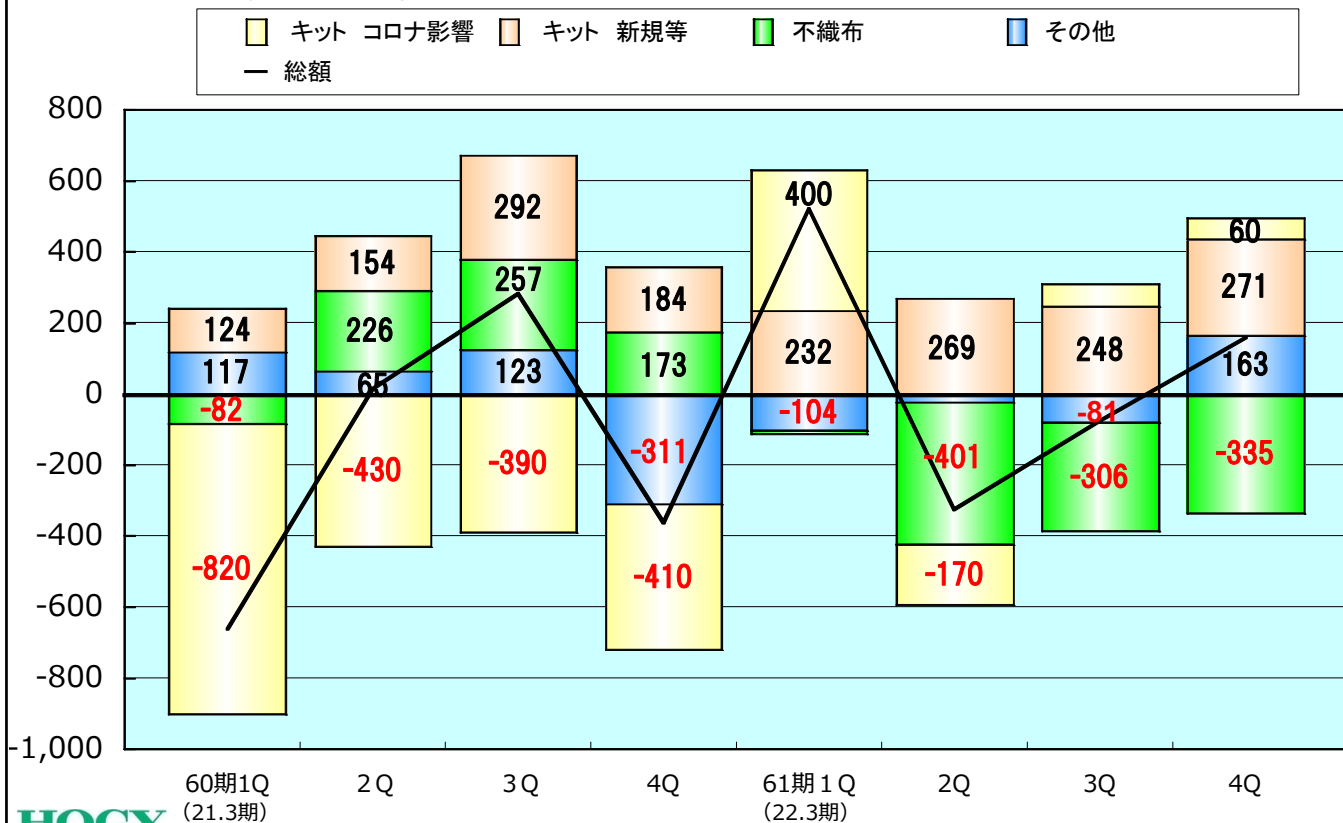
(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・ 不織布では60期第2四半期よりプリコーションセットの販売を開始した反動減
- ・ 第4四半期は、オミクロン株の流行により全国的にまん延防止が実施され一部施設では影響が出たが、従来の緊急事態宣言下に比べ影響は軽微となった
- ・ 新規獲得によりキット製品増収
- ・ その他不織布（マスク）は新型コロナウイルスの感染の落ち着きとともに販売量が減少

四半期別 伸び額の内訳

(単位：百万円、端数：切捨て)



HOGY

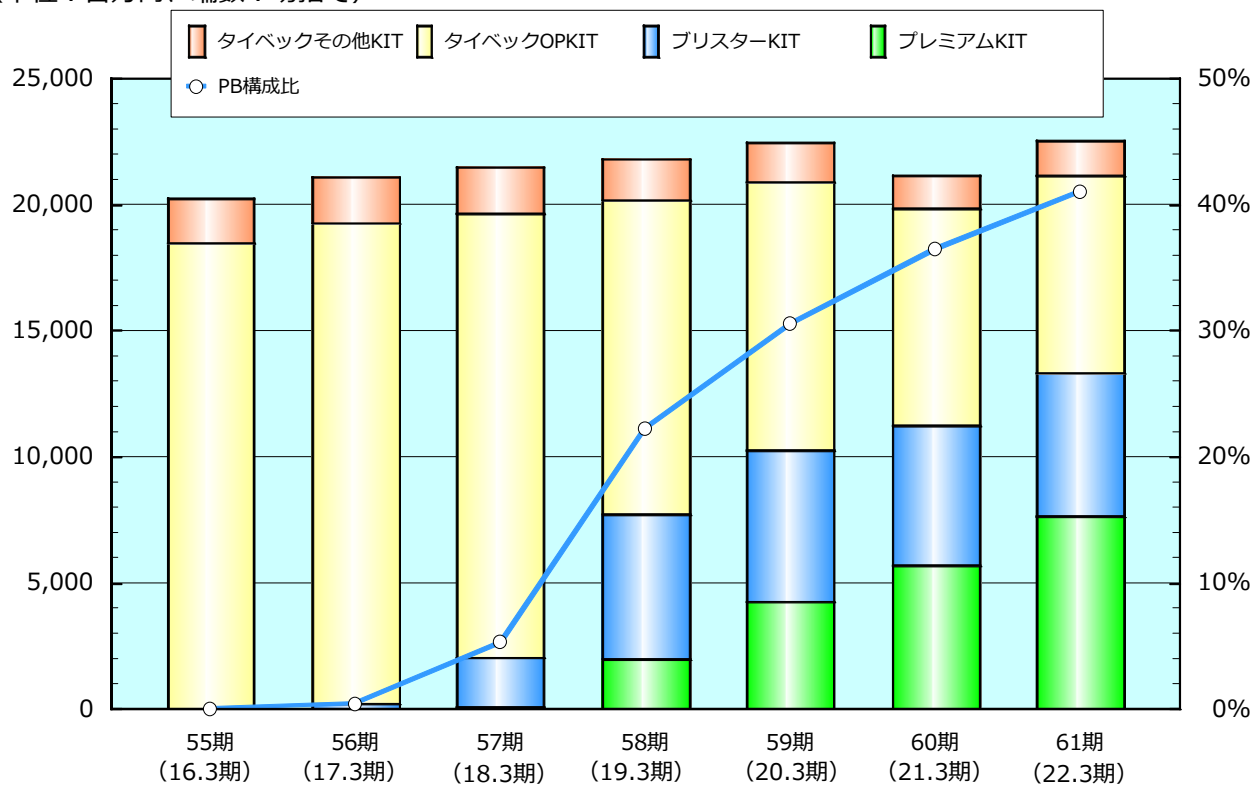
7

(単位：百万円、端数：切捨て)

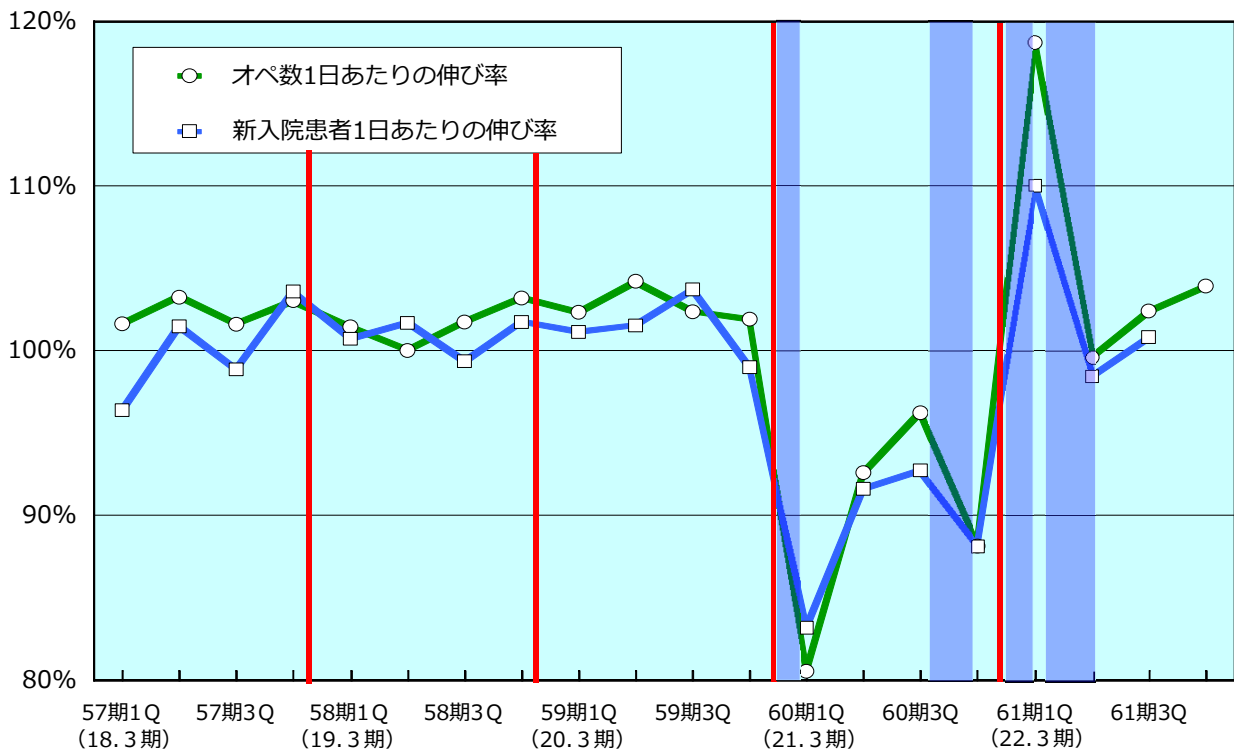
	60期1Q	2Q	3Q	4Q	61期1Q	2Q	3Q	4Q
キット コロナ影響	-820	-430	-390	-410	400	-170	60	60
キット 新規等	124	154	292	184	232	269	248	271
キット 合計	-696	-276	-98	-227	632	99	308	331
不織布	-82	226	257	173	-9	-401	-306	-335
その他	117	65	123	-311	-104	-23	-81	163
総額	-661	15	282	-365	519	-325	-79	159

キット製品 売上高推移

(単位：百万円、端数：切捨て)



オペラマスター病院 手術件数の伸び率と 新入院患者の伸び率/日



HOGY

は、東京都の緊急事態宣言期間

9

- 医療機関によって手術件数の回復傾向に差があり2極化が進む
- 手術件数は回復傾向にあるが、コロナ前の水準までは戻っていない

第61期（2022年3月期）ポイント



■市場環境

- ✓ 新型コロナ感染拡大により、4月大都市中心に緊急事態宣言、5月解除、7月全国各地で当該宣言、10月解除、1月まん延防止等重点措置、3月解除と状況が大きく変動
- ✓ オミクロン株の世界的な流行
- ✓ 医療従事者の離職率の増加
- ✓ 医療従事者の働き方改革に対する議論の再燃
- ✓ コロナ禍において手術件数を増加させ経営改善に取り組む医療機関との2極化が進む
- ✓ 医療機関での**機能分化が促進**（病床機能再編支援補助金は地域によって使われ方に差が出ている）

■決算のポイント

- ✓ 新型コロナにより手術件数の増減が起こり、第1四半期では改善傾向にあったが、第2四半期において前年を下回る状況となった
- ✓ 第3四半期ではキット製品が新規獲得により増収だが、不織布等で前年の特需の反動減により減収
- ✓ 第4四半期には、オミクロン株の流行により全国的にまん延防止が実施され一部施設では影響が出たが、従来の緊急事態宣言下に比べ影響は軽微となった
- ✓ プレミアムキットの売上高増加（前年比34.5%増、数量32.8%増）
- ✓ 第2四半期より不織布製品（ガウン・プリコーションセット）の特需反動減
- ✓ プレミアムキット販売への資源の集中化
- ✓ 新工場第2期工事の一部取得予定を61期1月から62期へ変更

第62期（2023年3月期）経営計画

第62期（2023年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,720		1,941	105.3%
営業利益	6,135	16.7%	6,510	16.8%	374	106.1%
経常利益	6,285	17.1%	6,570	17.0%	284	104.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,370	11.9%	4,570	11.8%	199	104.6%
E P S	153.00円		188.40円			

HOGY

12

■ 想定事業環境について

- ✓ コロナによる手術件数への影響は一定程度残るものの、前年度よりは回復すると想定
- ✓ 医療機関の対応は2極化が進む
- 医療従事者の離職率が増加

■ 診療報酬改定の概要

- ✓ 本体改定はプラスではあるものの、過去から見ても一番**プラス改定率が低い厳しい改定**
- ✓ 新型コロナ対策としての看護職員の処遇改善が組み込まれる（9月まで補助金交付、10月からは診療報酬）
- ✓ 「急性期充実対応加算」が新設され、**より手術や救急に特化する施設**に加算
- ✓ 医療従事者への働き方改革対策として「地域医療体制確保加算」の拡大、医師事務作業補助者の加算、勤務医の負担軽減、他職種連携等の項目に加算
→**働き方改革、タスクシフトに取り組む施設を評価**
- ✓ 短期滞在手術等基本料の評価の見直し（短期滞在の支払い方式となる対象症例の拡大により一層の**在院日数の短縮を強化**）

■ 増収増益計画

■ 売上高

- ✓ プレミアムキットのメインターゲットとなる**全身麻酔症例**を多く行っている施設へ営業資源の集中化を行い、急性期病院として規模が拡大する可能性の高い病院へのアプローチを強化
- ✓ 医療機関での**働き方改革やタスクシフトが進むことによる効率化の促進**

■ 原価

- ✓ 原油価格の高騰、原材料の相次ぐ値上げおよび物流コスト、光熱費等によるコストが上昇
- ✓ 全ての原価上昇要因を企業努力だけでは吸収できず値上げを計画
- ✓ 新工場2期設備を7月より一部稼働開始
- ✓ 製造量増加に伴う生産性の改善
- ✓ P.T.ホギインドネシアでの生産性改善

■ 販売管理費

- ✓ 販売管理費は営業活動促進に関わる費用に集中

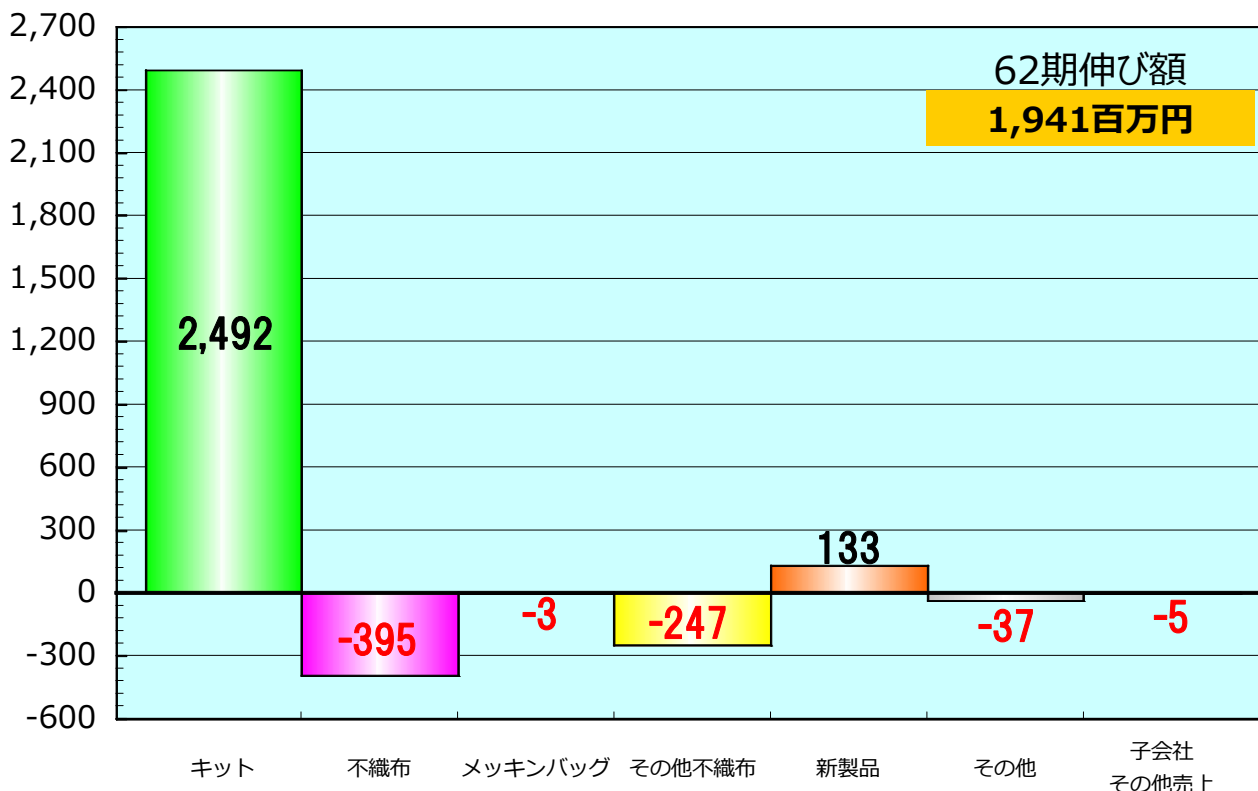
■ その他

- ✓ 配当を通期で2円増配し70円とする
- ✓ 社外役員増員によるガバナンスの強化と多様性の充実

第62期（2023年3月期）主な製品の売上高増減額



(単位：百万円、端数：切捨て)



HOGY

14

- **キット製品**：プレミアムキットの新規獲得と新型コロナによる減少の反動をうけ増加
- **不織布製品**：コロナ前の市場環境にもどる
- **その他不織布製品**：N95マスクの特需の反動減

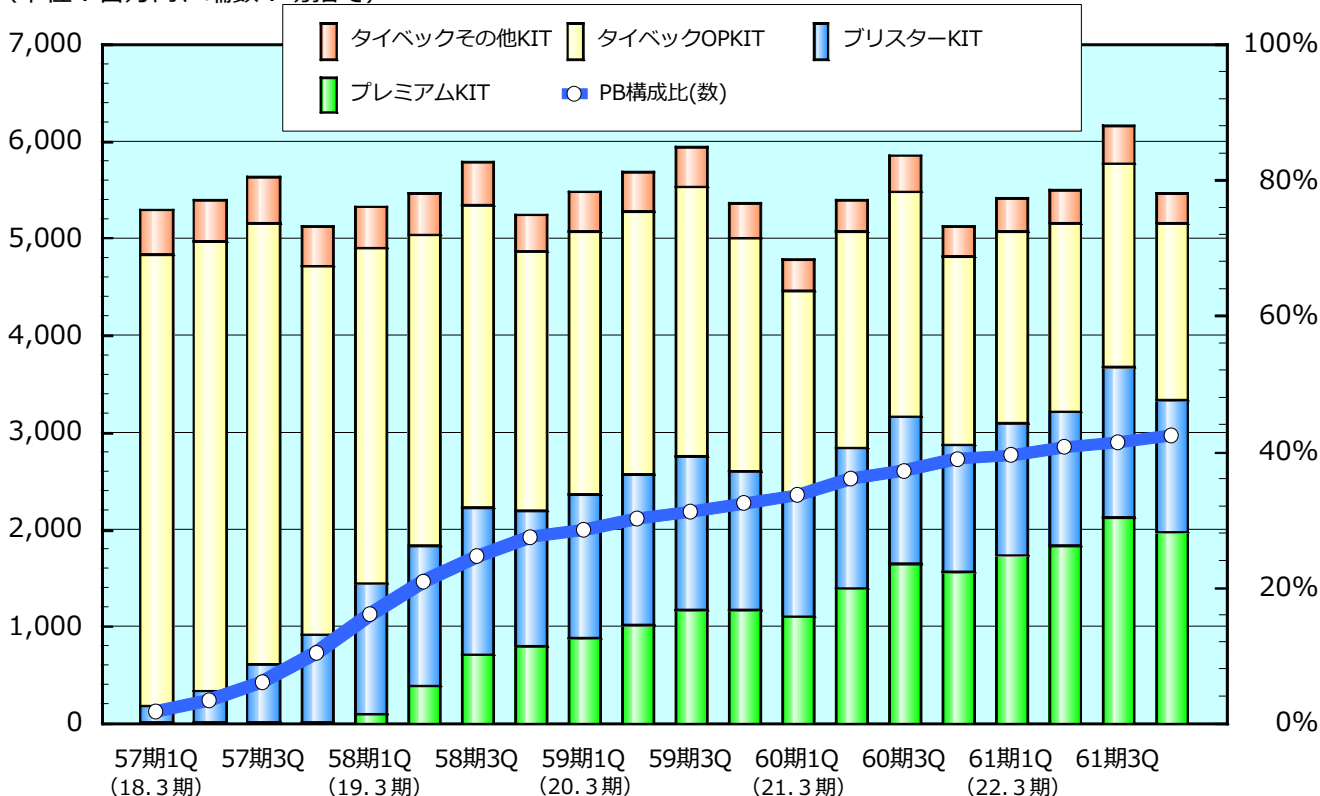
(単位：百万円、端数：切捨て)

	61期実績	62期計画
キット コロナ影響	350	550
キット 新規等	1,020	1,940
キット 合計	1,370	2,492
不織布	-1,052	-395
その他	-43	-155
総額	273	1,941

実績の詳細

キット製品 売上高推移

(単位：百万円、端数：切捨て)



HOGY

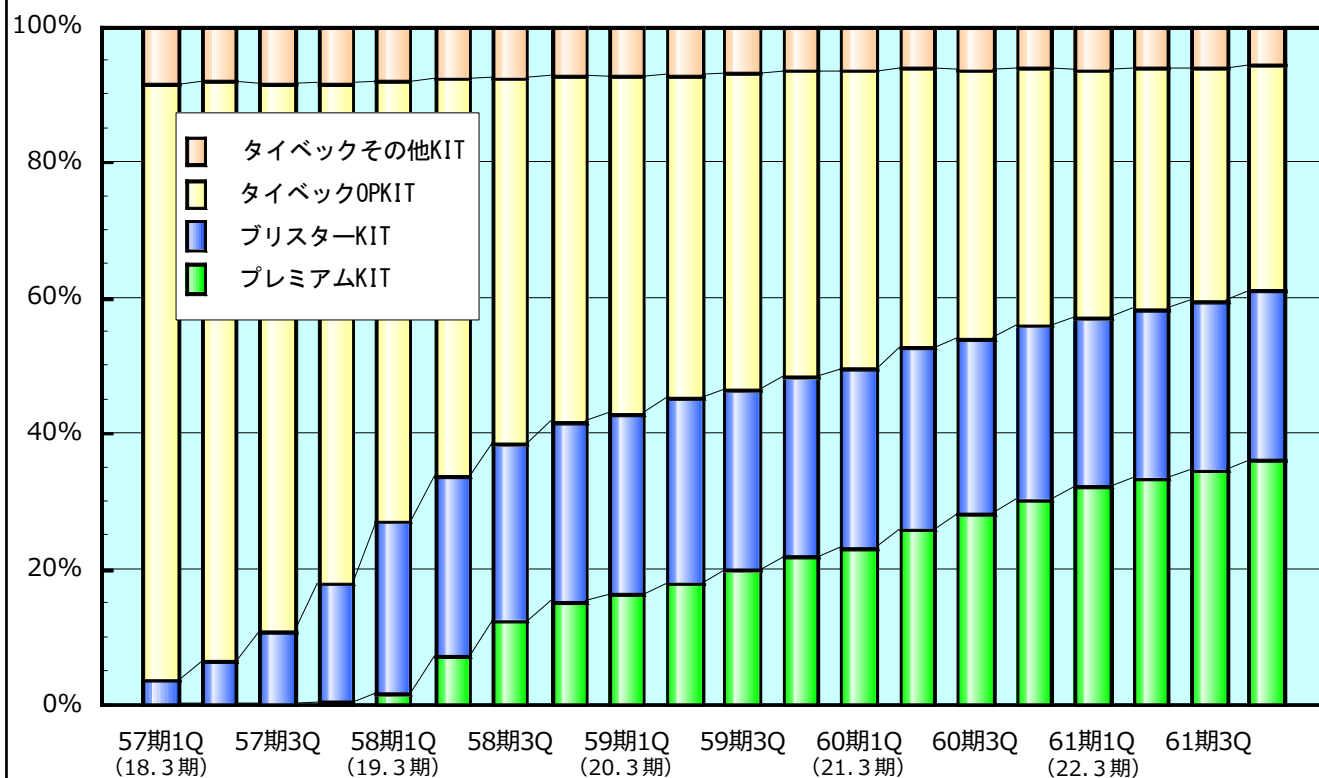
* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「プリスターキット」の合算を記載しております

- 新型コロナの影響でタイバックキットを中心に販売量が減少
- プレミアムキットの販売に注力した結果、プレミアムキットとプリスターキット合計の数量構成比は4割を超過
- 61期第4四半期 前年同期比
 - ✓ プレミアム、プリスター：+459百万円、116.0%
 - ✓ タイバックキット：△128百万円、94.3%

61期キット製品構成比 ((プレミアム+プリスター)/キット)

	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q前年比
売上高	57.1%	58.5%	59.6%	60.9%	+5.0%
数量	39.5%	40.7%	41.3%	42.4%	+3.5%

キット製品 販売構成比 推移



HOGY

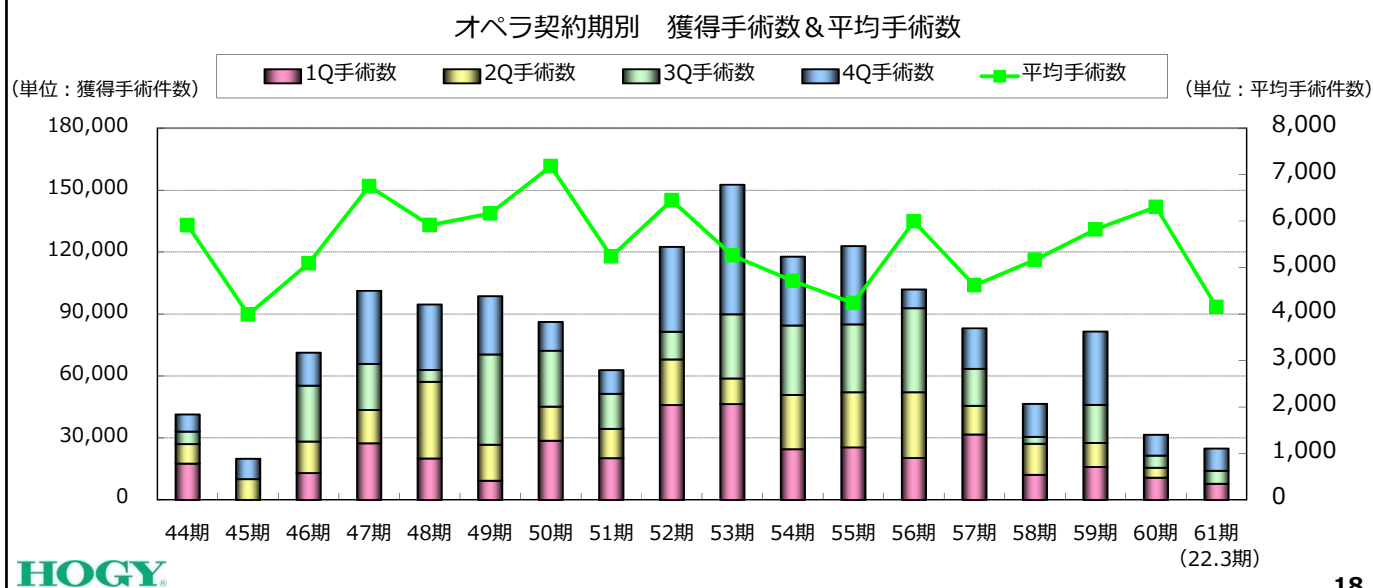
- ・タイベックOPキットの割合が減少し、プレミアムキットとブリスターキットの売上高が伸長し割合が増加

オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高 : 15,111百万円 (前年比 1,011百万円 : 107.2%)

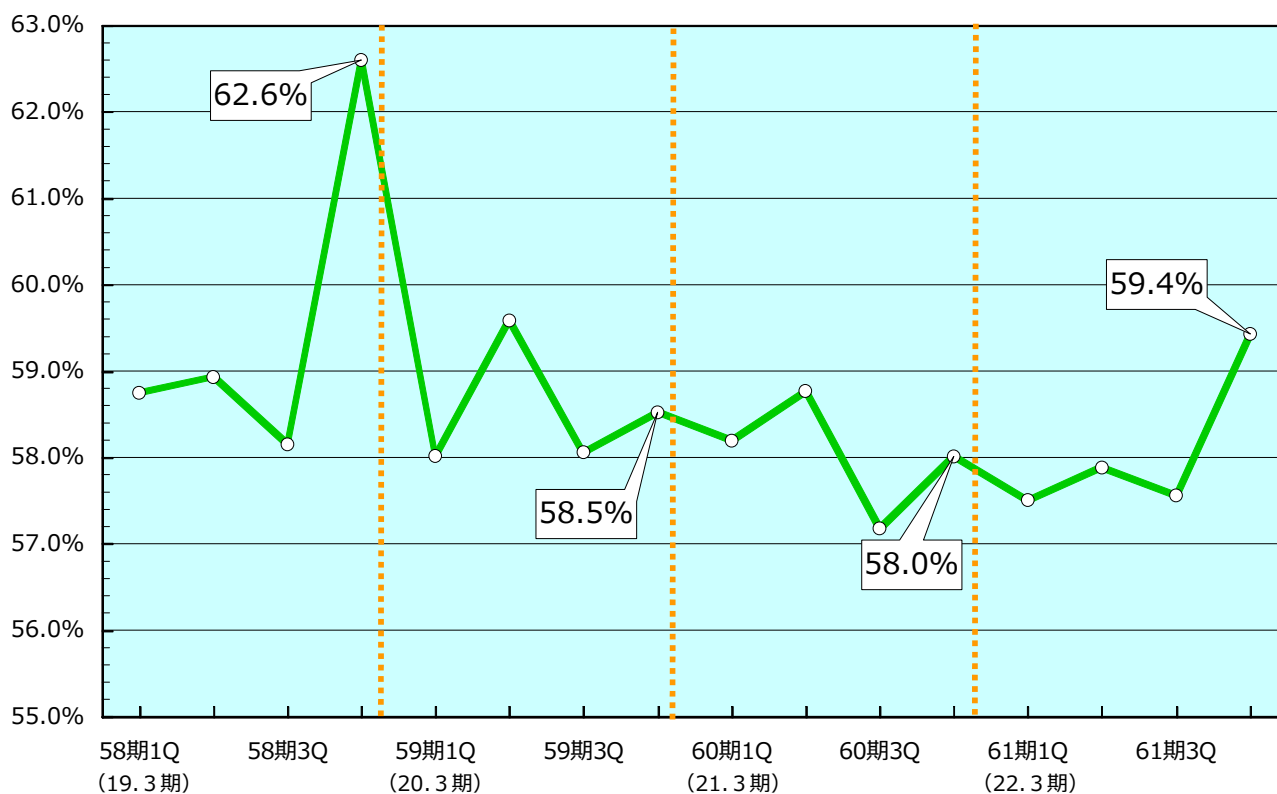
61期契約施設数 : 新規 6施設、解約 9施設

累計契約施設数 : 268施設



- 61期新規契約病院6件 (Ⅱ群1件、Ⅲ群5件)
- 61期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は4,150件
- オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

原価率推移



HOGY

19

・新工場償却費の減少

償却合計 : 4,115百万円 (前年比 : 434百万円減)

・ 原価 : 3,309百万円 (前年比 : 333百万円減)

・ 販管費 : 805百万円 (前年比 : 100百万円減)

第61期（2022年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期実績		22.3 61期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,504		36,778		273	100.8%
売上原価	21,177	58.0%	21,361	58.1%	183	100.9%
売上総利益	15,326	42.0%	15,416	41.9%	89	100.6%
販売費及び一般管理費	9,694	26.6%	9,281	25.2%	△412	95.7%
営業利益	5,632	15.4%	6,135	16.7%	502	108.9%
営業外損益	355		150		△205	
経常利益	5,988	16.4%	6,285	17.1%	297	105.0%
特別損益	1,001		0		△1,000	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,959	13.6%	4,370	11.9%	△588	88.1%
E P S	164.03円		153.00円			

主な増減科目	前年比
試験研究費	△230
減価償却費	△100
雑費	△93
見本費	△56
旅費交通費	35

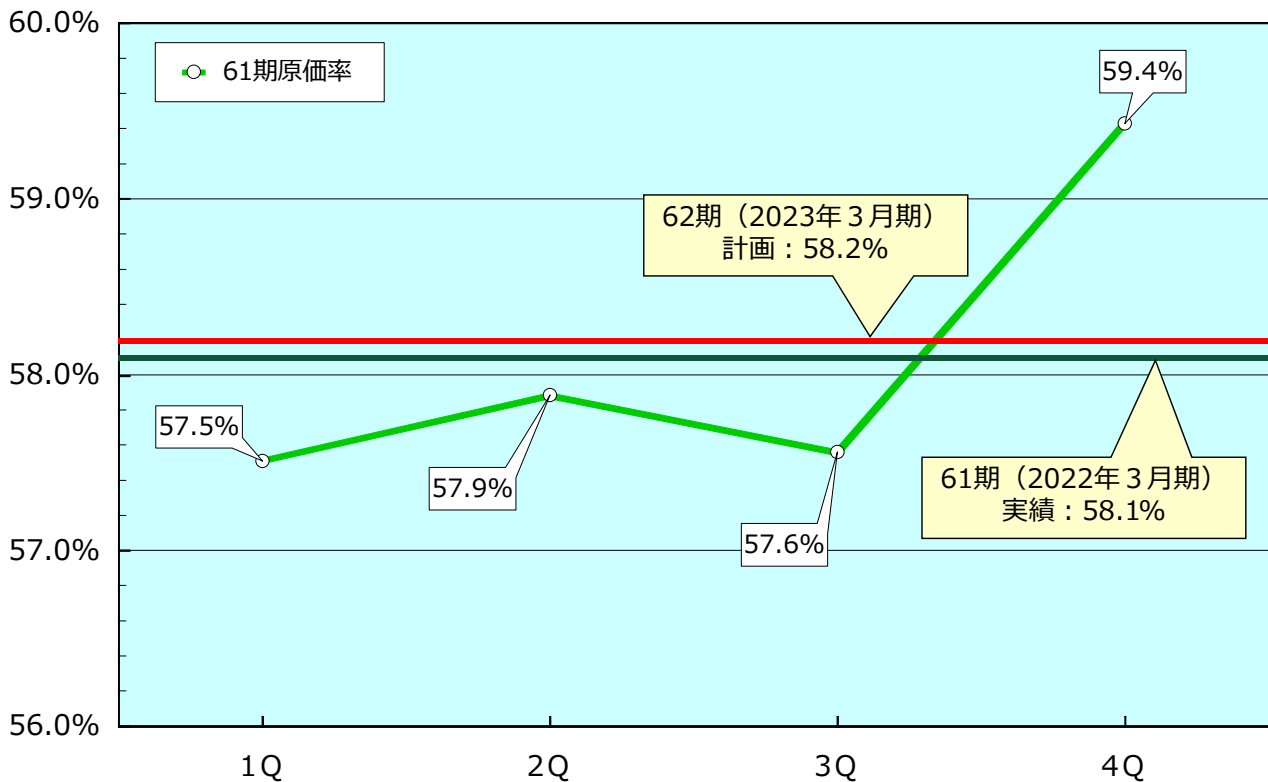
HOGY

20

- 販売管理費：9,281百万円(△412百万円)
 - ✓ 試験研究費：前年度新規事業に関わる費用が発生
 - ✓ 雑費：前年度ソフトライセンスの更新が発生
 - ✓ 旅費交通費：営業活動量の増加、ガソリン代の高騰
- 設備投資：3,489百万円(内新工場追加：1,830百万円)

第62期（2023年3月期）経営計画

第62期（2023年3月期）損益計算書



HOGY

22

- ・新工場償却費の増加

 - 償却合計：4,449百万円（前年比：334百万円増）

 - ・ 原価：3,590百万円（前年比：281百万円増）

 - ・ 販管費：859百万円（前年比：53百万円増）

- ・新工場第2期 一部設備の取得を開始

- ・生産量増加による生産性の改善

- ・コーポレートレート120円に設定（前年115円）

第62期（2023年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,720		1,941	105.3%
売上原価	21,361	58.1%	22,540	58.2%	1,178	105.5%
売上総利益	15,416	41.9%	16,118	41.8%	763	105.0%
販売費及び一般管理費	9,281	25.2%	9,670	25.0%	388	104.2%
営業利益	6,135	16.7%	6,510	16.8%	374	106.1%
営業外損益	150		60		△90	
経常利益	6,285	17.1%	6,570	17.0%	284	104.5%
特別損益	0		-		△0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,370	11.9%	4,570	11.8%	199	104.6%
E P S	153.00円		188.40円			

主な増減科目	前年比
見本費	62
減価償却費	53
荷造運搬費	47
試験研究費	41
旅費交通費	34

HOGY



23

- ・ 販売管理費：9,670百万円(388百万円)
 - ✓ 旅費交通費・見本費：活動量の増加
- ・ 設備投資：2,520百万円(内新工場追加：1,410百万円)

ご参考資料

各種キットの定義について



	プレミアムキット	ブリストアキット	タイバックキット (従来キット)
生産場所	新工場 (ムルチ) 		筑波、美浦 
製品形状	手技に合わせて小分けの パッケージにムルチ包装		不織布で包み 滅菌バッグにて包装
安全性	自動化生産によるメリット (入れ間違い、異物混入大幅削減)		従来通り
基準	1症例に必要な材料の 80%以上	1症例に必要な材料の 80%~30%	使用材料の少ない症例 材料の30%未満



2022年 4月14日 (木)

第61期 (2022年 3月期) 決算説明会

(2021年 4月 1日~2022年 3月31日)

取締役
経営企画部

管理本部長

川久保 秀樹
山下 洋